

★ 問題36 つぎの文章^{ぶんしやう}を読んで質問に答えなさい。答えは、1・2・3・4から最もよいものを一つえらびなさい。

町やビルで見かける飲み物の自動販売機^{じどうはんばいき}は便利^{べんり}だが、夜、だれも使っていないのに、明かりがついているのを見ると、電気代^{づか}をむだ使いしているように感じ^{かん}られる。

しかし、実は、自動販売機^{じどうはんばいき}はエネルギーを節約^{せつやく}する技術^{ぎじゆつ}が非常に進んでいる機械^{すす}である。そこには、どのような工夫^{くふう}があるのだろうか。

まず、冷たい飲み物^{つめ}は、全部^{ぜんぶ}を冷やすのではなく、売る直前^{ちよくぜん}の分だけ冷やすようになっている。自動販売機^{じどうはんばいき}の中にあるコンピューターが、曜日や時間による売れ方^{へんか}の変化を見て、最小限^{さいしょうげん}の数^{かず}だけを冷やすのである。だから、電気代^ひが少なくてすむ。

また、冷たい飲み物^{つめ}と温かい飲み物^{あたた}を同時に売る自動販売機^{じどうはんばいき}の場合^{ばあい}、冷たい飲み物^{つめ}を冷やしたとき^ひに出る熱^{ねつ}を使って、温かい飲み物^{あたた}を温めることができるようになっている。

以上のようなさまざまな技術^{ぎじゆつ}によって、自動販売機^{じどうはんばいき}は電力^{しやうひ}の消費^へを減らすことができたのである。